

令和2年 7月 1日

千代田区立九段小学校

校長 清水 明

図画工作科 大高 美和



休校期間中の図工課題一つ一つを見ていると、子供たちが本来持っている創造力が伝わってきます。紙などの材料を手に入れたり、リビングやキッチンで絵の具を広げたり、保護者の皆様の一方ならぬ協力もあったことでしょう。感謝申し上げます。

学校が始まり、図工室では衛生・安全管理に気を付けながら、間を開けて並び一人ずつ順番に材料や道具を取ったり、プロジェクター投影された映像で互いの作品を觀賞したりするなど、これまでとは異なる活動が展開されています。様々なところで不便さもありますが、目を輝かせて図工室来る子供たちの表情に勇気づけられています。子供たちが幅広い活動が体験できるようカリキュラムを見直し、楽しい図工の時間にしていきます。

1【6月の図工】

3年生 「にじんで広がる色の世界」

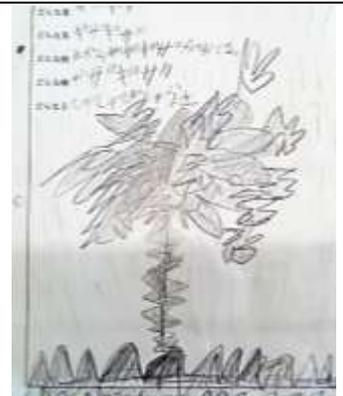
後ろ向きで形を描き、偶然できた形に、絵の具のにじみをつくりました。その形をきっかけに、様々なものに見立てをし、発想を広げています。最初から思い通りの形が描きたくなる子、色が濁ってしまいもう一度やり直す子など進め方は子供によって違います。失敗してもやり直しできるよう支援しています。



4年生 「彫ってさかせるまほろしの花」

学校に咲いている花や、インターネットで調べた様々な植物から、花の形や咲き方を想像し、スケッチをしました。子供たちは「海底」や「富士山のてっぺん」「火口」に咲く花など、想像を広げて様々な花をスケッチしています。

今後この作品は木版に表します。



5年生 「扉を開けたらすてきな場所」

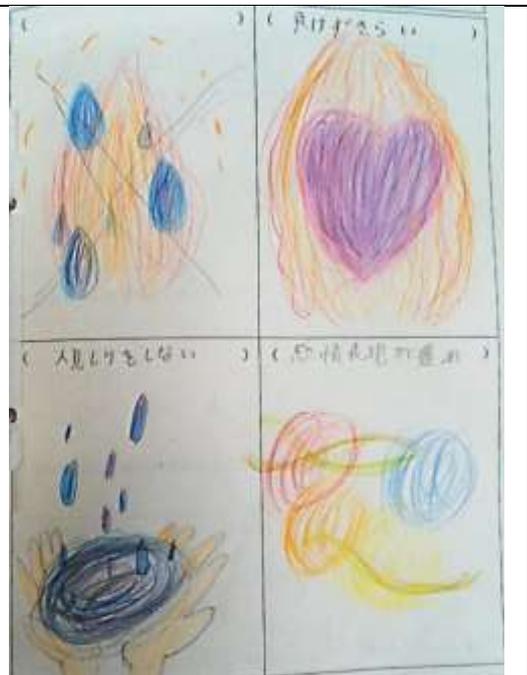
学校の様々な扉や物入れのフタ、靴など、異世界へのきっかけを自分で考えてお話を絵にする活動です。子供たちは、インターネットで世界中のすてきな場所や、宇宙空間などの資料を集め、構想を立てています。この作品は、絵の具やクレヨンなどこれまでの材料経験を生かし一枚の絵に表していきます。



6年生「私の命の色形」

自分の「良いところ」を見つけて、色や形に表します。「親に注意された、自分が悪いのにイライライする」「文章読解が苦手」「ゲームがやめられない」など、マイナスなことや気持ちもワークシートでリフレーミングします。6年生の子供たちは少しずつ、自分の成長に気付いていると思われます。一人一人自分らしい色と形をスケッチしています。

今後このスケッチは、粉絵の具やパステルなどで、腕全体を動かして、絵に表します。



3 持ち物の変更 教科書・筆箱・敷物（45cmビニールぶくろ）に加えて

エコバック(薄手の買い物バック 1枚)

児童が図工室に移動する際に、筆記用具・クレパス・色鉛筆・エプロンなどが運びやすいよう、折り畳み可能なバックを持たせてください。

2【7月の題材予定】

学年	題材	分野	持ち物
3年	にじんで広がる色の世界 ジャングルのおしゃれな虫たち 7月2週目から	平面 立体	絵の具セット クレヨン ペットボトル 500ml～2l 2本 食品トレー（透明なもの・スチレン製 ・透明なもので面白い凹凸があるパック） 2個 <u>ビニール袋に大きく名前を書いて入れて持たせてください。</u>
4年	彫ってさかせるまぼろしの花	平面	古タオル（汚れてよい服装で）
5年	扉を開けたらすてきな場所	平面	絵の具セット クレヨン
6年	私の命の色形 私はデザイナー 12歳の力で アイデアスケッチ・試作	平面 立体	絵具セット 練りゴム（汚れてよい服装で） 三角定規

